

鶏肉情勢

令和元年5月7日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
生	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査(一社)日本食鳥協会4月下旬実施)によると、3月の推計実績は、処理羽数60,883千羽(前年比100.3%)・処理重量180.4千ト(同100.0%)と前年並みとなった。前月時点ではそれぞれ若干前年を下回る計画(同99.8%・同99.5%)となっていたが、北海道・東北地区の処理重量(前月時点同99.8%)が同101.5%と上回ったこともあり上振れする結果となった。これは、全国的に気温が平年より高かったことや育成後半の伸びが従前通りに回復したこと等が要因と思われる。なお、生鳥処分は廃棄合計3.63%(前年差△0.08%)と減少した。 (2) 4月-6月で、4月は前年より日曜日が1日少なく稼働日が多いこともあり、処理羽数59,608千羽(同103.3%)・処理重量177.5千ト(同102.6%)と前年を上回る計画となっている。5月は羽数・重量ともに前年並み(同100.5%・同100.4%)、6月は羽数が前年並み(同100.2%)、重量が前年割れ(同99.4%)と計画されている。例年梅雨時期は需要が弱まるため、出荷重量の減少は在庫の抑制にはつながるものの、7月以降増産が計画されているため消費動向次第で供給過多も懸念される。
	2. 輸入 (1) 財務省が4月26日公表した貿易統計によると、3月の鶏肉(原料肉)輸入量は39.55千ト(前年比91.1%)で、日本食肉輸入協会の予測(41.2千ト)よりさらに下回りH29.3月(37.3千ト)以来40千トを割り込んだ。同協会公表によると4月40.5千ト(同81.7%)・5月42.0千ト(同89.1%)と予測されており、「ブラジル産は大手の供給が増えていないなかで対日向けの船積み数量も多くなく、タイ産は中国向け生産が増えてきているなか日本向け数量の確保は見込み難い状況にある。さらに先々外貨の上昇が見込まれることから、相場が高値に転ずる可能性は高いと考えられる。」とコメントしている。中国においてアフリカ豚コレラの感染拡大が止まっていないため、中国の豚肉・鶏肉輸入拡大に伴う価格動向に注視する必要がある。 (2) 鶏肉調整品の3月輸入量は42.5千ト(前年比118.0%)と、H30.10月期に50.48千トを記録してから減少傾向が続いていたが5カ月に増加に転じた。中国産が16.1千ト(同138.7%・前月比+5.4千ト)と回復し、タイ産も26.0千ト(同107.9%)となった。量販店の惣菜向けやコンビニ向けの加工品の需要増加に伴い、輸入量も増加傾向となると思われる。
需	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、2月は、全国一世帯当たりの3畜種の消費(購入)数量は3,604g(前年比102.4%)と前年は上回ったが金額は5,238円(同97.4%)と5か月連続で下回った。牛肉は暖冬の影響で鍋物商材が不振であったが安価な輸入牛による焼き肉・ステーキ用が堅調に推移した。豚肉・鶏肉はともに相場安で金額が減少。特に鶏肉は数量1,397g(同104.1%)・金額1,298円(同99.4%)となり、過去数か月と同様、ヘルシー・低価格志向等から購買数量は堅実に伸びているものの、相場安や特売需要等から金額は伸びない結果となった。
	2. 量販・卸 (1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、3月の畜産部門の売上高は1,014億円で全店ベースで前年比3.1%増、既存店ベースでも同1.7%増加し、前月に比べやや回復基調となった。「イベントが多い月にあたり、簡便メニューと御馳走メニューに消費が二極化した傾向がみられた。牛肉は焼肉やステーキ、しゃぶしゃぶなどのメニューが堅調で和牛と輸入牛に消費が二極化する傾向がみられた。豚肉は気温の上昇とともに生姜焼き用や炒め物用の需要が高まり、相場がやや高騰している国産・輸入豚どちらの動きもよかった。鶏肉は銘柄鶏を中心に好調となった一方で、価格競争の厳しさを指摘するコメントもみられた。」と報告されている。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる2月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比95.9%の3.88千ト。うち国内物は同93.9%の3.16千トと前年を下回り、逆に輸入物が同105.7%の0.72千トと報告された。輸入物の比率は18.5%と低いもののサラダチキン向け等の需要が堅調で着実に伸びてきた。今後夏場に向け需要増加が期待でき、国産むね肉価格が比較的低位で安定していることや、国産志向や味の面から国産むね肉での製造も増加する傾向にある。
在	1. 31年2月 (1) 推計期末在庫は国産28.8千ト(前年比107.0%・前月差+1.4千ト)、輸入品130.0千ト(同81.3%・同△4.6千ト)と合計で158.9千ト(同85.0%・同△3.3千ト)となった。生産量が1.1千ト減少し、輸入量が前月並み、国産品の出回りが生産量を下回ったため、国産品の在庫が増加した。輸入品は出回りが5.5千ト増加の46.1千トとなったため、前年比でみると81.3%と大幅減少となった。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(4月25日公表)では、3月は国内生産量が前月比で5.3千ト増加、輸入量は前月並みとなっている。2月に比べ出回りの増加が見込まれるため、期末在庫は約152千ト程度と在庫は減少の見込みとなっている。 (2) なお、4月は前月比で生産量が1.4千ト減少、輸入量もブラジル中心に0.7千ト減少し、出回りが2.6千ト増加することから期末在庫は国産・輸入品合計で16.1千ト減少の136.2千ト(前年比79.8%)の予測。5月は生産量が0.9千ト増加、輸入量もブラジル中心に1.5千ト増加、出回りが4.2千ト減少するが、在庫は9.4千ト減少の126.8千ト(前年比73.3%)と大幅に下回る予測となっている。
相	1. 4月動向 (1) 4月の平均相場は、もも肉601円/kg(前月比27円下げ)・むね肉232円/kg(同6円下げ)、正肉合計で833円/kgと前月比33円下げで前年比でも70円の下げとなった。前半花見需要(ヤキトリ、唐揚げ等)で一瞬もも肉に上昇機運がでたものの下げ基調となり、後半はGW前の需要喚起と反発を期待したが一時593円と今年の最安値を付けた。むね肉は、加工向け需要は安定しているものの、量販店等の特売需要が盛り上らず月初・月末とも234円で230円台を維持した。
	2. 5月見通し (1) 今年のGWは期間中に元号変更もあり10連休となるため、唐揚げ用もも肉等の行楽需要を期待したい。しかし、量販店等の売り場は惣菜や味付け肉等調整品関連も多くみられることや、割安な輸入牛肉や輸入チルドボークとの競合も考えられる。もも肉については、中旬から後半にかけて需要は落ち着き、また梅雨の季節も迫ってくるため、例年とおり下げ基調となり月平均でみると590円、一方むね肉は需要も若干回復し235円と予測する。

実績								
生産状況								
	H31年3月推計実績		H31年4月計画		R元年5月計画		R元年6月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	61,762	98.8%	61,978	105.3%	60,821	101.4%	58,343	99.6%
処理羽数	60,883	100.3%	59,608	103.3%	59,518	100.5%	57,257	100.2%
処理重量	180.4	100.0%	177.5	102.6%	178.1	100.4%	170.4	99.4%

※参考資料: 全国食鳥新聞発行「PMN」

輸入動向											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
H30年12月	47.0	46.5	101.1	46.1	48.1	95.8	93.1	94.6	98.4	50.5	49.5
H31年1月	42.0	48.3	86.9	42.4	41.8	101.3	84.4	90.1	93.6	49.8	50.2
H31年2月	41.5	46.7	88.8	35.4	37.0	95.6	76.9	83.7	91.8	53.9	46.1
H31年3月	39.6	43.4	91.1	42.5	36.1	118.0	82.1	79.5	103.3	48.2	51.8
H31年累計	123.0	138.4	88.9	120.3	114.9	104.7	243.3	253.3	96.0	50.5	49.5

※参考資料: 全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

消費動向(2人以上の世帯)							相場(年別・暦年)			
履歴	数量			金額			単位: グラム、円、%			
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	もも肉	むね肉	計	
H30年12月	1,765	1,640	107.6	1,665	1,728	96.4	H25年	583	246	829
H31年1月	1,429	1,382	103.4	1,348	1,389	97.0	H26年	626	294	920
H31年2月	1,397	1,342	104.1	1,298	1,306	99.4	H27年	639	336	975
H31年平均	1,413	1,362	103.7	1,323	1,348	98.1	H28年	621	255	876
							H29年	626	315	941
							H30年	595	282	877

※参考資料: 総務省統計局HP

在庫状況									
履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年11月	28.4	27.3	104.1	137.8	150.9	91.3	166.2	178.2	93.2
H30年12月	26.1	26.8	97.1	133.3	140.7	94.7	159.4	167.6	95.1
H31年1月	27.5	28.2	97.4	134.7	150.7	89.4	162.1	178.9	90.6
H31年2月	28.8	27.0	107.0	130.0	160.0	81.3	158.9	187.0	85.0

※実績参考資料: 畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別)									
品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H31年1月	648	673	96.3	271	312	86.9	919	985	93.3
H31年2月	650	663	98.0	256	304	84.2	906	967	93.7
H31年3月	628	637	98.6	238	305	78.0	866	942	91.9
H31年4月	601	608	98.8	232	295	78.6	833	903	92.2
R元年5月	(590)	585	100.9	(235)	282	83.3	(825)	867	95.2
R元年6月	(570)	564	101.1	(235)	272	86.4	(805)	836	96.3
H31年平均	632	645	98.0	249	304	81.9	881	949	92.8

※()は見通し

※1-4月平均